



市内の小・中学校の卒業式がありました。私は、赤城南中と中郷小の卒業式に出席しました。

両校とも新型コロナウイルス感染症に対応して、出席者の数を減らし時間を短縮して行われました。しかし、会場は、いつもの年と同じように、



▶中郷小学校の卒業式

厳肅な空気に包まれていました。

今年の卒業生は、最終学年をコロナ禍の中で過ごしました。私は、あいさつの中で、子どもたちに、先生や仲間と一緒に運動会や修学旅行などの楽しい学校生活を、存分に送らせてあげられなかったことをお詫びしました。

卒業生の答辞には、学校や家で普通の生活ができることのありがたさや、卒業式が開催できたことへの感謝の言葉が盛り込まれていました。当たり前のように行われていたことができなくなっている中ですが、子どもたちの「制約のある中でも、学校で仲間とともに学ぶことができて楽しかった」という言葉に感動しました。

京都の龍安寺に「吾唯知足（われただ たるをしる）」の文字が刻まれたつくばいがあります。満足する気持ちを持ちなさいという釈迦の教えです。コロナ禍でできないことを恨まず、その中でもできることを見つけ、新しい充実した日常生活を築いていきたいものです。

これからも子どもたちが、さまざまな困難を乗り越えて大きく成長し、はばたいてくれることを心から祈ります。